

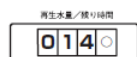
「014o」表示について

装置が約2週間稼働した際に「つけ置き洗浄」を実施する必要があります。

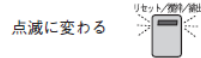
①下記つけ置き洗浄手順に従って、「つけ置き洗浄」及び「014o」表示の解除を実施します。

XR-2000/5000 濃縮釜のつけ置き洗浄手順

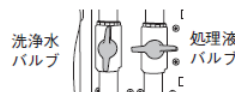
- ① 警告コード「014o」が表示されたら、「運転」スイッチを押して、運転を停止します。



- ② 「リセット/搅拌/排出」スイッチを2秒以上押して、濃縮液を排出します。



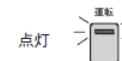
- ③ 処理液バルブを閉じ、洗浄水バルブを開きます。



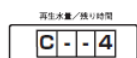
- ④ 洗浄水タンクの水がオーバーフローレベルまであることを確認します。

注：洗浄水タンクからの水の吸入を確認します。「E-21」が表示されることがありますが、異常ではありません。

- ⑤ 「運転」スイッチを3秒以上押します（運転ランプ点灯）。



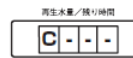
- ⑥ 濃縮釜への水の吸入が開始されると、警告コード「C--4」が表示されます。



- ⑦ 約4分経過すると、運転が自動停止します（運転ランプ消灯）。



- ⑧ 水の吸入が終了すると、警告コード「C--」が表示されます。



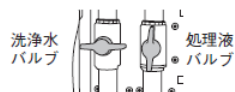
- ⑨ 電源スイッチを「切」にして、電源をOFFにします。



- ⑩ 濃縮釜に洗浄水を入れたまま、約24時間放置します。

重要：必ず装置の電源をOFFにしてから放置してください。

- ⑪ 24時間経過したら、処理液バルブを開き、洗浄水バルブを閉じます。



- ⑫ 「電源」スイッチを「入」にして、電源をONにします。



- ⑬ 「リセット/搅拌/排出」スイッチを2秒以上押して、つけ置き洗浄水を排出します。

注：次の手順に進む前に、「アップ」「ダウン」スイッチの初期設定値をメモしてください。

- ⑭ 「アップ」「ダウン」スイッチを使用して、タイマーを「44」に設定します。



- ⑮ 「リセット/搅拌/排出」スイッチを押して、設定モードに入ります。「-44-」が表示されます。



- ⑯ 「アップ」「ダウン」スイッチを使用して、タイマーを「33」に設定します。



- ⑰ 「リセット/搅拌/排出」スイッチを押して、タイマーをリセットします。



- ⑱ 「アップ」「ダウン」スイッチを使用して、タイマーを「44」に設定します。



- ⑲ 「リセット/搅拌/排出」スイッチを押して、設定モードを終了します。

- ⑳ 「アップ」「ダウン」スイッチを使用して、タイマーを初期設定値に戻します。

- ㉑ 「運転」スイッチを押して、運転を開始します。このとき、ディスプレイに「014o」が表示されないことを確認します。
- これで、濃縮釜のつけ置き洗浄は終了です。

重要：XR-2000/5000 は、富士フイルム製サーマルプレート用現像液の廃液専用の装置です。富士フイルム製であっても他の現像液およびフィニッシングガム液の廃液は処理しないでください。また他社製の現像液の廃液は絶対に処理しないでください。装置の性能が低下し、再生水が下水排除基準に適合しません。

注：つけ置き洗浄時の洗浄水の排出量は、XR-2000 で6ℓ、XR-5000 で20ℓになります。XR-5000 の洗浄水排出時には、濃縮液タンクが満杯にならないように、必ずタンクを空にしてください。